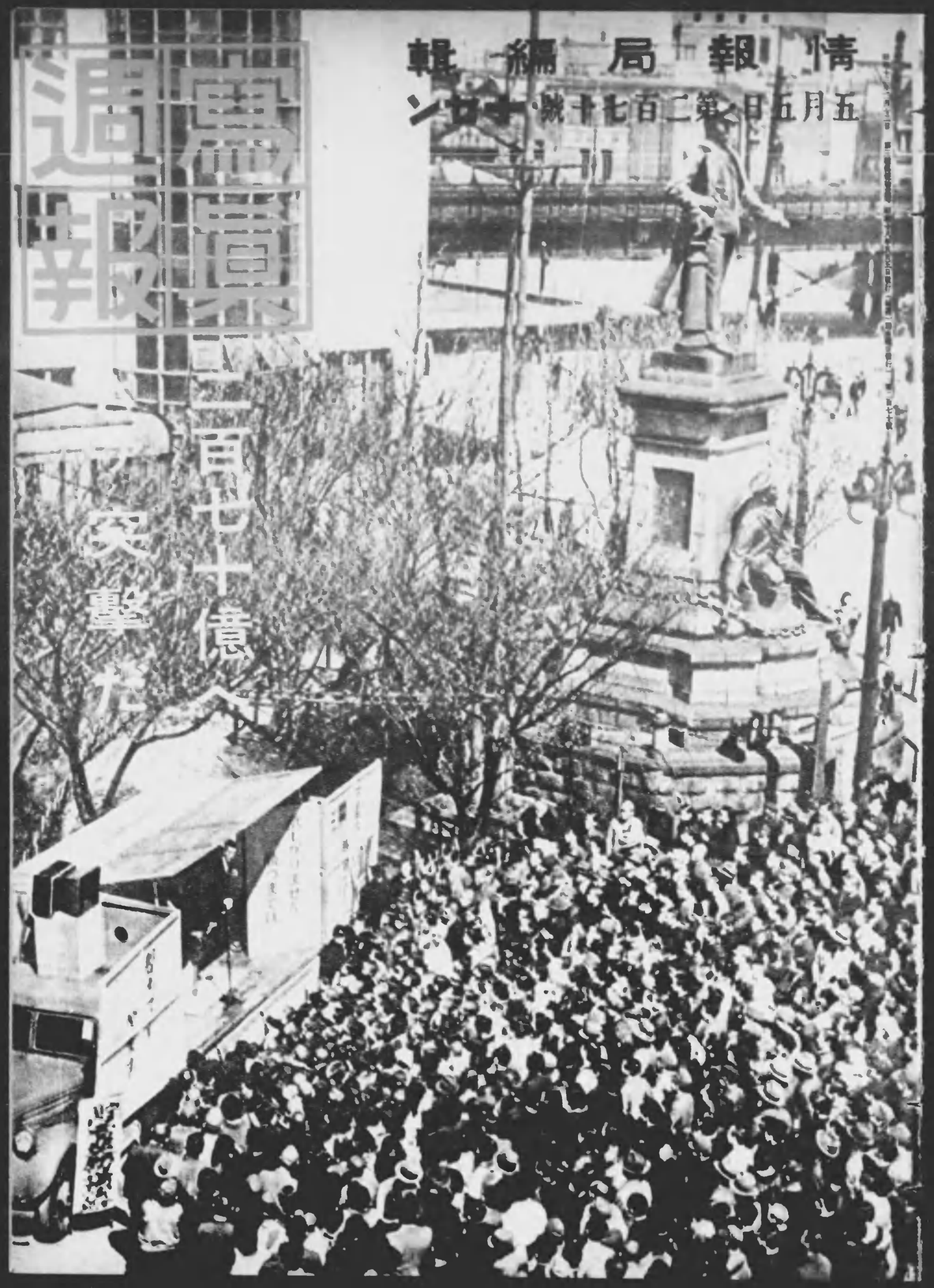
情報局編輯
五月五日第二百七十號

週報

南京攻撃

二百七十億

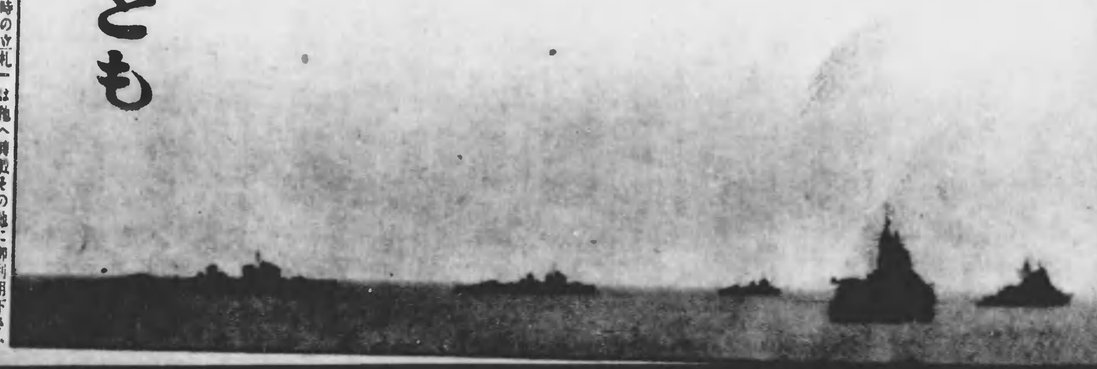


アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

わが蓄めしいさゝかの金
けふも鋼鐵の艦となり
南海の敵を撃つ

わが積みしそこばくの金
けふも銀翼となり
大東亞の空に飛び立つ

撃ちてしやまむ
この暮しなほゆとりあり
否　この暮しゆとりなくとも



「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

仲は九段の若櫻

靖國神社春の臨時大祭 嚴かに執行さる

大君の醜の御楯として雄々しくも大東亞の戰さの場に散華した忠魂一万九千九百八十七柱がこの國護る新祭神と神鎭まり給ふ靖國神社春の臨時大祭は、四月二十二日の招魂式の儀に引きつゞき、二十三日から二十八日まで嚴かに執り行はれた

畏くも　天皇、皇后兩陛下には二十四日靖國神社に行幸行啓遊ばされ、新祭神をはじめ護國の英靈に親しく御拜あらせられた

遙々と故郷をあとに靖國へ靖國へとつどひ上つた全國四万の遺族は、九段の春酣に、惜しげもなく散りしく櫻の花びらを袖にうけながら、かねての思ひ、忠義の夫の、忠義のわが子の姿をはつきりと社頭に見るを得た、あのぬば玉の深闇の中を凛々と進んでいつたお羽車、また清らけく朝日さす拜殿の彼方を伏し拜んだ遺族たちは、あの日、赤襷凛々しく勇んで征つた肉身の燃えるばかりの純忠の魂を、いまぞしみ〳〵とわが身に覺えたのであつた

夫よ、わが子よ、たとひこの腕朽くとも、みこの仇を討ち遂げるまでは、と新祭神に決意雄々しく誓ひつゝ九段の社頭を去つていつた幾万遺族に、われら一億ゆめ投護の手をゆるめてはならない

貯め拔く道はいくらもある

二百七十億へさァ突擊だ！

⇦國民お互のつながりを更に強化しながら國民貯蓄を達成する最も有力な方法がある。一億國民が揃つて簡易保險に入ることだ。國民が連帶組織で結ばれたこの强さこそ貯蓄決戰態勢だ

七億圓

⇦早曉を起床の太鼓がふれまはる。さあ、ラジオ體操だ。老いも若きも健民へ……これまで國民一人當りの醫療費が四圓五十錢、一億では四億五千万圓、これを健民運動で三割節約すれば

⇦零細なものでもあはせれば大きな戰力です。全國の國民學童が一日一人一錢ヅゝお小遣ひを節約して貯めれば、全兒童數が千二百四十五万ですから、一年に約四千五百万圓になります

⇦中學生以下の男子が一月一回宛の散髮を自宅でやれば、年に四千五百万圓が浮いてきます

ポカ〳〵と春陽を浴びて床屋になつたお父さん。バリカン、チョキ〳〵、チョキンです——

單位一千五百万圓（彈丸切手例月の發行總額七百五十万枚と想定）

⇦貯蓄は節約から更に進んで勤勞で生み出しませう。それで『國債消化は隣組の內職で』を提唱しますが、東京だけでも十一万六千の隣組があり、一隣組一月百圓宛生み出せば一年で

⇦昭和十三年旅行べの出產數は千九百二十万人で、勿論、最近はぐんと增加してゐます。赤ちやんも米英相手の兵器が欲しい。そこで出產の喜びを記念貯金にかへて二十圓宛書發すれば

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

貯め抜く道はいくらもある

昨年課税の對象になつた國民の遊興飲食費は驚くなかれ十二億に上つてゐます。それも悲しいことに年々鰻上りの勢ひです。言はずもがな、断じてこれを貯蓄へ！

⇦十二億圓

佐藤陸軍軍務局長の談にあるやうに、今度の戰爭は生ぱんかな妥協に終る戰爭ではない。文字通り民族の興亡を賭した戰爭であり、國家の運命はわれ〳〵一人々々の運命である。貯蓄の心構へもかゝる自覚から喚起しなければならない

われ〳〵が鬼畜のやうな米英人を相手に果合ひをするとして、一ふりの日本刀もないと知りながら、なほかつ武装を忘れて酒食に、贅沢な衣裳に金を費す者があるだらうか。食べものをつめても、まづ日本刀を求め、なほ更に近代兵器の購入にあたるだらう

貯蓄は國民の一人々々がその命を託す兵器をまかなふ費用なのだ。

今年の國民所得五百億圓のうち、三百七十億圓が國家目的、即ち戰爭完遂のために集中される。この三百七十億のうち、百億圓は租稅及びこれと同性質の國民負擔となるが、殘りの二百七十億はどうしても國民貯蓄でまかなふのだ。今年の貯蓄目標であるこの二百七十億はどうしても貯め抜かうない筈だ

鉢巻を帶びて戰場に臨むは武士の癖、わが國民性が断じて許さえません。熱海、湯河原、伊東だけでも、昨年中に七千五百万圓もの金が使はれてゐます

二百七十億へさァ突撃だ！

單位一千五百万圓（弾丸切手例月の發行總額七百五十万枚と想定）

⇦東京だけですが、昨年の映畫觀客は延人員一億九千万人です。一人料金五十錢として九千五百万圓。東京だけですョ。少くとも映畫館を二重三重にとりまいての醜態だけ止めて下さい

⇦日本古來のゆかしい行事だといつて、華美な飾物を並べなければならない必要があるでせうか。精神の美しさを生かし傳へてゆきませう。こんな人形類が年に三千万圓も費れてゐます

派手な結婚衣裳などに見とれてゐてはいけません。もう少し時局を辨へて下さい。昨年は一億五千万圓も贅沢な衣裳にお金を費つてゐるのです。戰ふ國民の生活には勿體なさ過ぎます

⇦日本婦人の美しさは、どて〳〵塗りたくた脂粉のうちにはない筈です。まして昨年中に使はれた紅、白粉代が一億七千万圓にもなると知つたら――さあ國内戰線から脂粉を追放しませう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Rodords
http://www.jacar.go.jp/

指人形貯金劇に出演

―東京―

撮影 三輪 作

常會に持ちこまれた俄か造りの舞臺だが『欲しがりません勝つまでは』の台詞も凛々しく可愛らしい指人形が大見得を切ると、どつと哄笑の渦。まあ、オホヽ…そして、和やかな笑ひの中から斷然貯め拔くその決意を盛上げようと大日本婦人會貯蓄部の新趣向、二百七十億完遂に指人形も一役の微笑ましい風景である。なほ同部では六月上旬から全國支部の貯蓄指導員にも人形の造り方、演出法、脚本作成などの樂しい講習を行つて常會その他にどん〳〵指人形芝居を持ちこみ、可憐な舞臺から主婦たちに、貯めませうと呼びかける

⇧ワタシタチハヨイコドモ、ミンナデチヨキンイタシマセウーと指人形がいつてゐる ⇩

⇦『さあ、出番ですヨ、もつと赤ちやんをよりそへたらどう…』樂しい場面…

⇦『オトナトモドコ』

新しい貯蓄の三方仕種

今年の貯蓄目標額の二百七十億を分擔する各府縣以下市町村への割當額もすでに決り、目標攻略への強力な進擊を開始された皆さんは、郵便貯金に、簡易保險に、またはいろいろの國民貯蓄組合やその他の施設を通じて、せつせと戰力增强の貯蓄に邁進されてゐることと思ひますが、政府でもこの目標額をつみ上げ易いやうにといろ〳〵工夫をして、今年から大きのやうな新らしい方法が實施されることになりました。その一つは『戰時納稅貯蓄』です

これは現金も國債同樣、國家の重要な財源なので、現金を收め易いやうにしようといふので、納稅施設法といふのが制定されました。その一つとして、現金と貯蓄をむすびつけてはじめられるもので、所得稅のうち市町村を通じて納めてゐるものと、給料や賞與等のやうな勤勞所得にかけられた分類所得稅と、個人の臨時利得稅を收めるとき、稅金額の二倍(甲種)または三倍(乙種)の貯蓄をすれば稅金を納めたことになり、二倍のときは二年足らずで、三倍のときは十二年足らずで掛けたお金がそつくり戻つてくるといふ仕組になつてゐるのです

次きに今度貯蓄增强のためにいろいろの新手段を實施できるやうに、臨時資金調整法を改正して、新種の貯蓄や新證券の發行はもとより、それに割增金を付けることも創めることができるやうになりましたが、その手はじめとして『國債貯金』と『貯蓄證券の發行』がはじめられます。そこで『國債貯蓄』ですが、これは、今まで國債は額面の種類や賣出期間が決つてゐるので都合の惡いこともあり、買つた國債を保管委託するなど手數もかかつたので、この面倒をはぶいて直接通帳で國債が買へるやうにしたので、郵便局や銀行は勿論、信用組合でも取扱ひ、好きな時に好きな額面の國債が手に入れられる仕組で、もと〳〵通帳で買へる國債ですから、利益りも國債と同じで、集つた資金は全額國債消化に向けられることになるのです

次きに『貯蓄證券の發行』ですが、これは、いつでもいろんな機會に手軽に貯蓄ができるやうに考へられたもので、贈答品や賞品、心づけなどにも使へるやうに、五十錢から五十圓位まで數種類のものが用意されます。貯蓄のための證券ですから、これで品物は買へるせんが、前に述べた國債貯金の預入れには、郵便局でも銀行でも通用することになつてゐます

さあ、どんな方法でも結構です。新しい意氣込みで、今年も見事に二百七十億を貯め拔いて補給の大任をはたしませう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

とげ上値の米お
策政價物いしら新

新米價の決定

政府は去る四月二十日、十八年産の米價を決定しました。その結果

一、十八年度産米の實質上の買入價格は石當り六十二圓五十錢、一俵當り三十五圓となりました。これはいままでの四十九圓にくらべると、石當り十三圓五十錢の引上げになります

一、この十三圓五十錢のうち、三圓は政府の標準買入價格の引上げであり、十圓五十錢は補給金（假稱）として、いままでの五圓の生産奬勵金とあはせて十五圓五十錢を交付することになりました。この結果、地主の賣渡米は三圓の引上げとなり、自作農と小作農の政府拂出米は十三圓五十錢の引上げとなり、小作農の小作米は十圓五十錢の引上げになるわけです

一、同時に、政府の標準賣渡價格は石當り三圓引上げの四十六圓となりました。つまり、一般消費者の負擔は一升につき三錢値上げとなるわけです

これによつて、政府は國庫から新たに約四億五千万圓ほど補給金を支出することになり、これまでの二億圓とあはせて、約六億五千万圓の負擔をすることになります

農民魂に報いる道

戦争がつづけば戦さは勝てません。前線の將兵に戦果を挙げ、職場の戦士に一層の戦力増強を願ふのも、一椀の飯を安心して食べてもらへる主要食糧の國内自給を確保しなければ出来ないことです。そこに、わが国は小なりとも、戦場に通じてゐる中國農民の深い自負と責任があります。外米の輸入には船が必要です。この決戦下、一ぱいの船もお米を運ぶかはりに、その船が作戦に參加でき、生産力擴充に振向けられれば、それだけ日本は勝つことになります

十七年度は大氣にもめぐまれましたが、六千七百万石に近い豊作であつたことは、戦時下、勞力や肥料の不足を克服して、ひたすら増産に精進した農村の方々の農民道に徹した血と汗の結晶であつたことは知らぬ者はありません

しかし、この間にあつて、工場や鑛山の勞銀と比べて農村勞力の評價が安かつたことや、米作にくらべて青果物が不當に割高であつたことなどは、「米つくることをもつて自性の道義」と心得た純農の人々にも、多くの動搖を與へたことは否めません。そこで政府は、この米價安を是正し、決戦のこの年にそなへて、一轉明朗、さらに盛りあがる農民魂の昂揚によつて一層の増産に馬力をかけていただくためにも、新米價の決定となつたのです

今度の引上げは相當大幅な引上げになつてゐますので、將來とも特別な事情のない限りこれを維持し、みだりに改訂することはありません。また、米の超重點物資であることを基準として、他の農村物資との均衡をはかり、割高な青果物などは適當に引下げる方針になつてゐます

政府が戦時下、巨額の財政負擔を引受けて、生産者には補給金の交付により皇國農村の健全な發達をはかるとともに、消費者にはどこ迄かの負擔にとどめ、低物價政策を堅持した建前は、一つに戦争遂行の源泉、國民生活の安定をはかり、戦力培養に上下あげて一層の努力をするためであつて、生産者は増産供出に、増加收入は貯蓄に、消費者は消費規正に、各々萬全の工夫と努力をつゞけて食糧政策に協力することが戦争を勝利へ結ぶ一段階であるといへませう

新物價政策の狙ひ

新米價には生産者に補給金を交付することになつてゐますが、この補給金制度は去る二月十六日の閣議できまつた『緊急物價對策要綱』に基づいてとられた新らしい一つの物價對策です

緊急物價對策は、物價政策と生産増強の矛盾調整にとゞまらず、さらに進んで物價政策を通じて積極的に生産増強を推進することにあるので、低物價政策をあくまで維持しながら生産増強をどうして可能ならしめるか、といふ點を基本の考へ方として作られたもので、その内容を具體的にあげますと

一、適正生産者價格の保證、例へば鐵、銅、米など戦時必要物資について、生産者に適正な價格を保證します

二、低物價維持のため需要者の支拂ふ價格は原則として据置とします

三、その間の差額は補助金政策で埋合せをつけます

四、以上のものでも暴價の惡循環を引起さないことが明らかなものは、適當な範圍で需要者價格を引上げます

五、生産者の創意と工夫で特に増産を實現したものに對しては報奬的な措置をとります

これを安いまゝで買上げては苦勞も報はれないことになりますので、基準的な價格と、會社の價格との差のうち、或る程度の餘分を『增産賞』として利潤を認めるといふのです

たゞ、これらの報奬制度を適用するにあたつて、生産量の増加を國つて生産品の規格、性能などが低下するやうなことがあつては大變ですから、この制度の運用に際しては、品質はもとより、企業全體の綜合成績をも期待するとともに、特定の工場や、一定期間の増産のため、他の工場や次期生産が落ちるやうなことがないやう十分注意する方針をとつてゆきます

要するに這劍に國家の要望に應へて、國としても生産者に價格面から報いるところあらんとするのが、こんどの報奬の目的ですから、生産者も政府の意圖を十分のみこんで、この決戦の年、社長も工員もさらに一層の戦力増強に挺身していただきたいわけです

内閣改造と決戦態勢

東條内閣はこのたび、重光外務、安藤内務、山崎農林、岡部文部、大麻國務の新陣容をといへの、情報局に天羽新總裁を專任して一段と強化し、朝野一體の態勢をもつて、東條總理の陣頭指揮下に戦時下各般の施策を處理してゆくことになりました。決戦態勢は物にも、人にも、心にも極度に要求されてゐます。前線も、都會も、農村も打つて一丸、われ自ら敵米英に一矢を報いるの覚悟をもつて、時にあたり、事に處し、皇國千年の安泰をこひねがはうではありませんか

増産覺え書

土地に適した品種を選んで植ゑること

現在、内地で栽培されてゐる稻の品種は、數千種もあり、その栽培面積が五千町歩以上のものだけでも七十二品種もありますが、各品種にはそれ〴〵固有の特性があります。從つて、土地によつてそれぞれ適不適がありますから、或る地方に適するものが必ずしも他の地方にも適するといふわけにはゆきません

それで、農林省や道府縣の農事試驗場では、各地からいろ〳〵の品種を集めて、その優劣、適、不適を比較し、耕種改善規準といふものを作つてゐます

この耕種改善規準といふのは、各部落の氣候、土質、地勢および今までの試驗、試作、調査の成績、篤農家の經驗、配給肥料の割當量などを基礎として、それ〴〵の部落に最も適當な品種、栽培方法、病虫害の防除方法等を定めたもので、その部落は耕種改善規準の通りに實行すれば、自然に増收の效果を擧げることが出來るようになつてゐるのです

なほ、どんなに良い品種でも、たゞ一品種だけを全部の圃場に栽培しますと、冷害や風害などのために思はぬ損害を蒙ることがあります。必ず刈取の時期の違つた數品種を適當な割合に混ぜて栽培することが必要です

苗代で病害虫を十分防いだ上で田植をすること

苗代の病害虫は地方によつて一概にはいへませんが、苗腐收病、胡麻葉枯病、稻熱病、浮塵子、虫、葉潰、泥負虫、スリップ、害虫等が發生して稻は害され、またひどくなると苗として役立たなくなります

大きに、苗代時代に病害虫が發生すると、わざ〳〵病害虫を苗代で養つて、これを本田につれ出してはあくやうなもので、本田に大發生の源をなすことになりますから、苗代では病害虫の防除を特に念入りに行ふ必要があります

勞力が不足しても田植だけは粗漏にならぬやう

だん〳〵勞力が不足してくるにつれて、田植作業がともすれば粗漏に陥り、植付株數も知らず〳〵少くなつてくる傾向にあります。特に請負田植の場合は甚だしいやうですが、それ〴〵の品種や土地に適した間隔を與へて、太陽の光熱と地力とを十分に利用して、最高度の收量を擧げるやうに努めねばなりません

それで從來から疎植に過ぎた地方では、この際、努めて密植することが肝要ですが、殊に最近のやうに肥料が不足してくると、一株の分蘖數が減つて來ますから、一般に今までよりも幾分密植してこれを補ふことが必要です。密植すれば、少い肥料を十分に利用することが出來ます

最も適當な坪當り植付株數と一株の植付本數は、品種、植付時期の早晩、土地の肥瘠、施肥量などによつて違ひますが、各部落の耕種改善規準に從つて、先づ田植綱の『メジルシ』をつけかへたり、田框を改造したりし、町村または部落などで、田植綱や田框の檢査をし、不適當なものは一齊に直すやうにしなければなりません

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

椰子の木蔭の田植唄

—ラトマス—

⇦ 椰子の葉に苗をいれて

⇨ 日本的な米作をおぼえた農民の收穫は前にくらべて二倍三倍だ。ここでは收穫と田植が一つ宴を境に行はれる景色もめづらしくない

⇦ さんさんと照りつける太陽の下でみのりの多い刈ほし

⇦ 今まで鍬をさいて撒いた稻田に組織的な田植がインドネシアの田植唄で

⇦ 果てしなくひろがつた稻田の見張所では娘と母親が手をたゝいて群がる稻を終日見つめてゐる

⇦ 働くことが楽しいことだと知つたのは日本軍が來てからだつた。野良に出ることがこひは大きい

戰後、蘭印政府はスマトラの農業政策としてゴム、コーヒー、煙草などの換金作物の栽培を農民に強制し、徹底的な搾取をする一方、農民の主要食糧の米は高い外米を輸入して、これを供給してゐた。皇軍占領後、現地自給の建前から、スマトラの農業再編成は米、棉花、玉蜀黍等の增産に切換へられ、農民たちは日本の指導者の下に協力、食糧增産の一翼をうけもつことになつた

軍政施行以來一年、その努力は報いられた。かつて粗放な撒いて植んと野生の米を獲つてゐた米作は、水稻、陸稻とも組織的な收穫法にかはり、二毛作の收穫よりあげられて、スマトラ各州の自給態勢は急速に整備されてきてゐる。スマトラ西北端のアチェー州をはじめとして西海岸州、パレンバン州、ベンクーレン州などでは日本の農作に呼應して、農年滿作のうれしい報告をあげてゐる

撮影 内閣情報局員

密林から生れ出る日の丸船

―北ボルネオ―

⇦『ボルネオの大密林には本邦甲鉄艦が無敵に聳え、天を睨んで聳える巨木にいま丁度斧が入れられた』

⇦見渡す限り密林ボルネオに生れて第一船を進水した

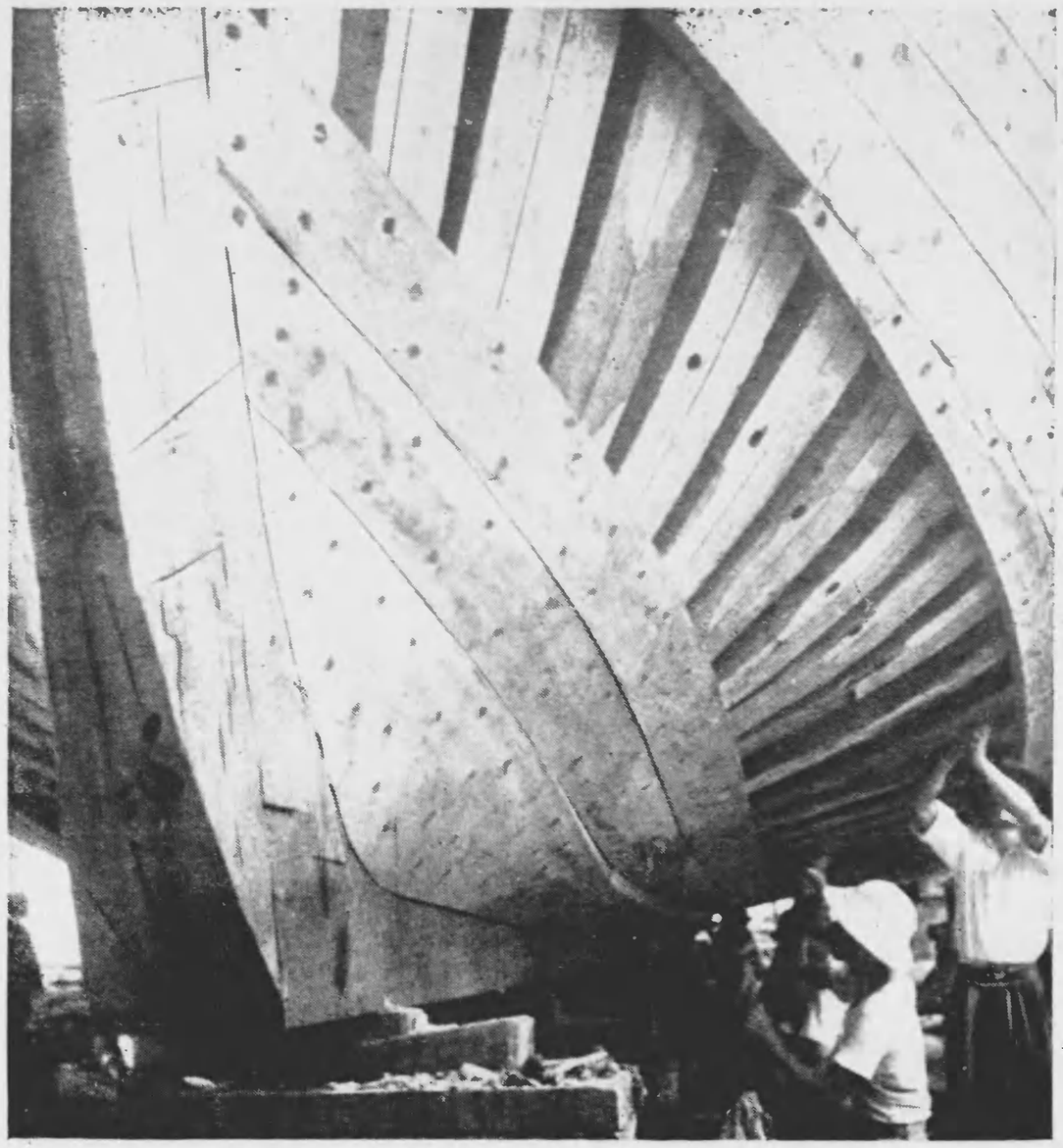
⇦『豊かな住居い密林の中を林間鐵道はディーゼルエンジンの音も長閑よく巨材を運んでゆく』

⇦現地人の船大工も一生懸命だ。もうもう鋸屑を運ぶわれ〳〵の船が出き上るぞ

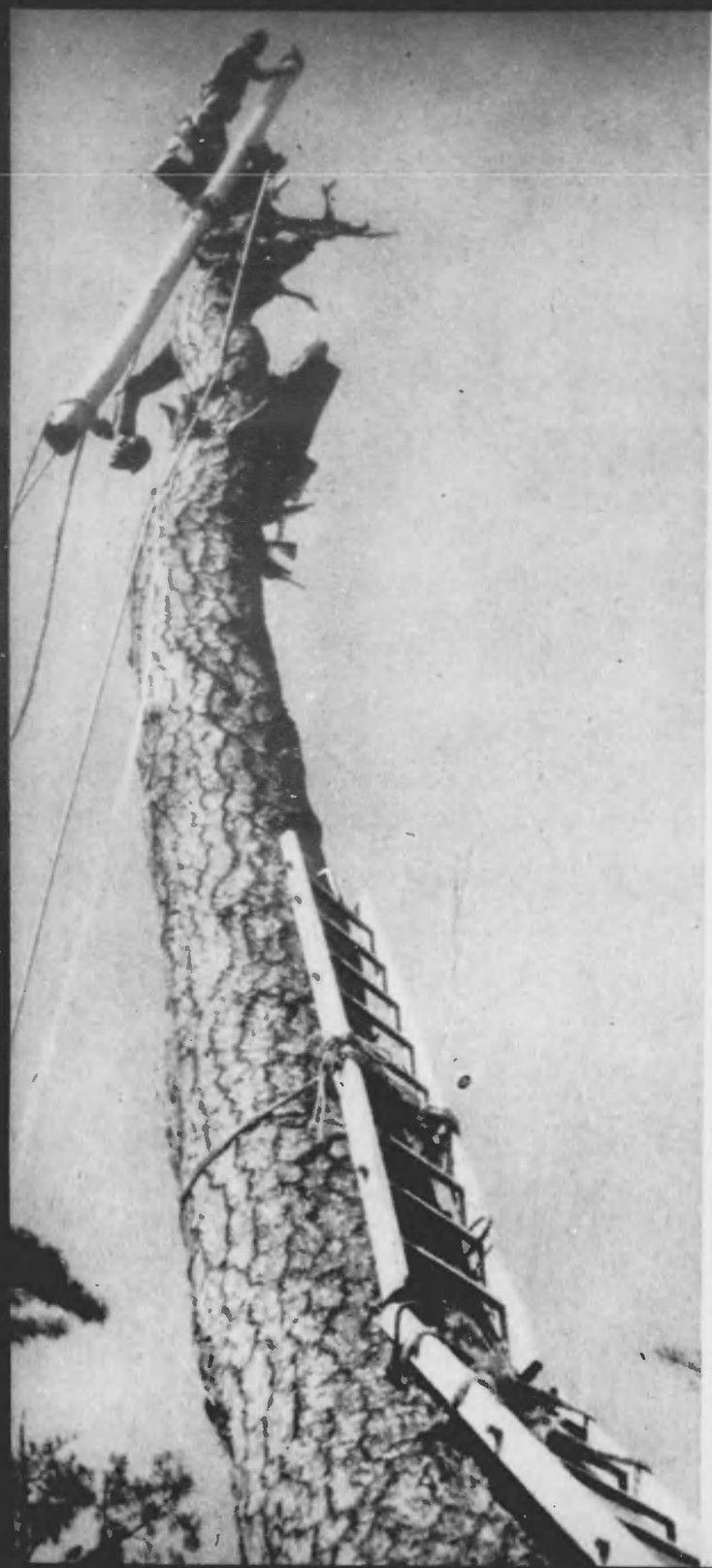
世界で三番目の大きい島ボルネオ、その脈いノ〳〵大陸のそうな全土が、見渡す限りの大密林に蔽はれてゐるボルネオは、實に木材の無限の寶庫だ。殊に英領時代から木材の輸出を以て知られた北ボルネオは、内地の造船増强運動に呼應して、いま軍政部の首脳が陣頭に立つて本造船の建造に大章である。千古の密林から伐り出される勿體ないやうなボルネオ産チークや、ラワン等の造船用材の大木が、原住民の木遣り音頭を密林に谺させながら搬出され、林間鐵道で河に送られる。そして筏に組んでボルネオの誇りとする大製材所へ、そして日本人の指導の下に原住民の船大工達の必死の努力で、着々と立派な木造船が造られてゆく。日本人達も烈日の下、汗を流して勤労奉仕のお手傳ひである

かくて、その第一船は日本側軍官民と原住民たちの感激のうちに、去る紀元の佳節に進水、『第五十一ボルネオ丸』と命名され、續いて第二、第三と續いて完成進水し、日を追うて加速度的に能率をあげてゐる。軍政部首脳以下『本造船ならボルネオだ』と大した張りきり方である

記事　坪内陸軍報道班員
撮影　最殺陸軍報道班員



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



⇦必勝の念願こめた平松津山市長の斧始め

⇨津山市の震災壯年團員は總出で大八車に供木を積み、運搬の率仕をする

⇧枝とはいへ、二、三十年を經た位の太さのものが降りてくる

大日本婦人會員も枝拂ひの濟んだ枝木の運搬に當る

枝拂ひが濟むと丸太ん棒を幹に結へてクレーンにし、いよ〳〵大木の輪切りがはじまる⇨

召集すること三百歳の松並木

岡山縣津山市

撮影　小石清

⇧二百七十年の樹齢を保つた二宮松原の名勝地

岡山縣津山市の名勝地二宮松原の並木が、翼賛會の主唱する木材供出の先陣を承つて、米英撃滅の時代の材として唄れの唱を上げた

君を松原　ソロ　ヨ　暮れて　鐘が鳴りますお城の　お山　ニ　ホ　ヘ　ト　ニ　津山小唄に唄はれ、地元民に親しまれて力たこの松並木は、延寶三年（今から二百六十九年前）、時の城主によつて植ゑられたもので、城下の名所として、また非常時の防空として、春秋二百七十年を經て今日に至つた

二百七十年の樹齢に歴史の来し方を誇ってきた由緒あるこの松並木は、四月十九日の供木入れを受諾と受け、引續いて供木材會社の手によつて三百三十餘本の伐採が續けられてゐる。またこの運搬には連日、地元翼賛壯年團、在鄕軍人會、大日本婦人會の勤勞奉仕隊が當つてゐるが、これらの人々の汗の結晶は、松材にして約三万五千石となる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

今日だけは憧れの海鷹に

青少年航空錬成部隊の土浦海軍航空隊一日入隊

東日本十八道府縣から選ばれた百八十名の青少年航空錬成部隊は三月十九日、憧れの土浦海軍航空隊に『一日入隊』をした

話に聽き、映畫で見、空高く飛んでゐる飛行機は數限りなく見てゐるが、靜座にスラリ並ぶ海鷲や火の出るやうな訓練を受けてゐる少年飛行兵を目のあたり見ては、さすがの少年航空錬成隊員もその優秀さに、その猛訓練ぶりに目をみはつてしまつた

しかし『われも空に志す若者たち』と感歎からわれにかへつた錬成隊員は、兄貴分の飛行兵に負けず飛行服に身を固め、下駄履優で同乘飛行したり、郷里出身の少年飛行兵を囲んで、空を語つた

『僕は來年必ずきます』『僕は勿論ですが、弟もきたがつてゐます』『さうか、きつと來いよ。待つとるぞ』とお互に聲ひ合ひ、僅か一、二日の入隊ではあつたが、錬成隊員の空への憧れは決意にまで固く結ばれた

北海道、青森、福島、山形等々百八十名の青少年航空錬成部隊は雨の中を入隊した

吊床は、さぞゆら〳〵揺れるやうに思つたが、さうたいしてゆれもせずなか〳〵寝心地がよい ⇦

雄飛館の畳の上では郷里出身の少年飛行兵と向き合つて、錬成隊員が空への憧れをぶちまければ、先輩は靜かに『來いよ』とにこ〳〵する ⇩

飛行服は少しダブついてゐるが、敬禮はしつかりしてゐる。操縱者と共に豆飛行兵は司令に搭乘の報告をする ⇦

『やあ！　征きます』と天晴れ豆飛行兵になりすました錬成隊員は同乘できる喜びに勇んでゐる ⇦

百八十名の中から同乘飛行する代表が選ばれたが、との幸運をかち得た子供は隊員の帽子に送られて氣爽と空へ飛び立つ ⇩

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

明るく戦へ（七）

週刊写真報道　米價引上げ朗報を地現に打診

お米の買上げ値段が一石六十三圓五十錢と大幅引上げが發表になつた翌日『寫眞週報』は全國でも米作地として有名な千葉縣利根河畔に朗報打診に出かけてみた

風雪と闘ひ、土ととつくむ農民の姿は昨日も今日も變つてはゐない。すでに農繁期に入つた香取郡笹川町根方村の櫛渕とつゞく水田には、牛馬耕が行はれ、苗代が作られ、からつと明けた農民魂は秋の收穫を目さしてもう一歩々々、土に汗する増産進軍だ。根方村の組合長高木改司さんは泥田からあがつたその足で『オーイ』と聲をかけ、働く村人をよびあつめた

『……わつしらの勞苦は報はれました。わつしらの勞苦が政府でもよつく解つてもらへたことは、なんどしてもうれしいこつです。前線で思ふ存分戦つてもらふのも、軍艦や大砲を存分作つてもらふのも、わつしらが米作らんとつちや、どうもなんねえ……どうかまあ、この氣合で、一つ眞劍勝負で米作つてもれえてえもんだ……』

わが田を戦場とする皇國農民の不屈不撓の農民魂は明日の増産へ挺身する農村の津々浦々にまで高らかに響きわたつてゐた……

市橋よし子（二十歳）さんはお母さんと一緒に今日は株おしだ。『これはまだ半人前です』とお母さん、紺がすりの肩がくくと笑つた

『ハイッ　ホーラ』かけ聲も景氣よく、あるじの悦びを馬も知つたか、牛も閊いたか、豊年満作の秋をめがけて、はや増産の第一歩は水をけたてはじまつた

苗代の水が引かれて、岩井春雄（二十二歳）さんは高木さんと田へ入つた。いくたびか繰りかへした感激と自信が手先までも傳はるやうだ

『米一升が林檎一つとおなしとつても、わつしらはやれる況けやりました。こんどの値上げがなんぼか百姓に勢つけるかわからしねえ』と土屋昌躬（四十二歳）さん

『米作に身も心も打ち込むのが百姓の道だ。肥料も人手も足りねえ……そこをまあ、わつしらで一苦勞、値上げも無にするやうなことがあつては、お天道さまに申しわけねえ』と組合長の高木（五十二歳）さん

『うちのととを來じてゐる戦地の息子どもが、なんしても喜ぶこつてすで……ありがたいことです』と一人の息子を戦地に送つた母の野口つね（五十八歳）さん

千葉縣香取郡根方村

撮影　飛田昌俊

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

愛の宿営

⇦ 熱誠こめてお米供出　帝國農會情報課

越後獅子で知られた新潟縣西蒲原郡のお米供出は、血のにじむ自家保有米二万石餘も加はる見事な成績で三月末をもつて終つたが、丹誠こめたお米の應召だけに、出征勇士の歓送さながら、牛車部隊の先頭にはブラスバンドまでつけて、盛大にその首途を祝福したのだつた

⇦ 傷痍勇士に農事訓練

京都市　小西二一

京都傷痍軍人職業補導所愛國寮主催の傷痍軍人農事訓練は、このほど府立綾岡農學校でその第四回目を實施したが、參會の勇士たちは、身につけた戦場精神に物いはせて、むづかしい竹細工講習も難なく征服、再起奉公の熱意を遺憾なく發揮した（中と下）

東大寺の金属供出　奈良市　仲城義久

決戦下、寺院も金属供出の尊い一役を買はうと、このごろ奈良東大寺でも、例の大佛様の前の大柱に掛けられてゐた長さ四丈、目方一枚百貫の銅製燈籠四枚をはじめ燈籠など三千貫といふ大量供出を行つて、市民をアッと驚かせたが、これはその『大燈籠』の一つ

★表紙

『貯蓄なければ勝利なし』さうだ、貯め抜かう……しかも、この決意を笑ひの中から盛上げようと、東京市ではトラックに『笑ひの兵士』をのせた新案『貯蓄移動講演隊』を編成、先月末から毎日一區三ケ所の割合で市民に呼びかけてゐる。二百七十億へ突撃だの進軍ラッパが、早くも帝都の空に鳴り響いてゐるのだ……麻布中佐銅像前の講演隊

照準器

大東亞戦爭漫畫日誌　川石　進介

日蘭の大東亞經濟圏に驀々進々

英印軍の敗退に重慶大不滿

英軍のチャンエジプト上陸又も失敗

南太平洋の戦線拡張へ大艦隊

米大東亞相南方戦線へ旅

敵機又わが病院船を不法攻撃

ガダルカナル島猛爆つづく

自慢の線香　杉　柾夫

『この線の優秀と、貯金通帳だけが、ハイ唯一の持ち物でございます』

すべてを貯金に

⇦ 不器用事業　森熊　猛

『今日の日曜は内職に大鳴刀をかけて俵藤一枚分鋳ひ出してみせるわ。あたしにも手傳つてもらはうと思つたけど、不器用だから切やのお守鋳むわ』

汐干狩と貯金船　小泉紫郎

アサリやハマグリを買つたつもりで『結婚貯金』をする。小さいながらもこの貯金船は帝國軍艦を生むのだ

⇦ 貯蓄運動　銃後の戦士

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
www.jacar.go.jp/

寫眞週報（第三回配給物資）昭和十八年五月五日發行（毎週一回金曜日發行）第一百七十號

寫眞週報（第三回配給物資）

昭和十八年五月五日 印刷發行

編輯者 情報局 東京市麹町區永田町一ノ一

印刷者 發行者 內閣印刷局 東京市麹町區大手町

定價

一部十錢（送料一錢）

（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）

▲電話配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所

全國各地官報販賣所

書店・新聞販賣店

寫眞材料店

內閣印刷局印刷發行

前號獄間に本誌を

お讀みになつたら本誌を前線獄間に送りませう。送料は內地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば一部一錢です

（內閣報道：A4判規定圖はさゝ大の書本）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/